



Topics

- ・第63期役員紹介
- ・新旧委員長対談

日本税関労働組合 函館地区本部 教宣部
 函館市海岸町24-4 函館税関内
 TEL (FAX) 0138-40-4265
 fcu-hakodate@mte.biglobe.ne.jp

執行委員長 佐藤 直樹

- ①温泉巡り
- ②Take it easy
- ③調査部 管理係長

気が付けば執行部5期目。より良い職場環境改善に向けて尽力いたします！

副執行委員長 北出 淳一

- ①ドライブ・ゲーム
- ②思い立ったが吉日
- ③業務部 統括審査官 (総括) 上席審査官

引き続きよろしくお願いいたします！

副執行委員長 柴田 倫典

- ①ツリング(バイク)・ピアノ・水泳
- ②一期一会
- ③調査部 統括審査官 上席審査官

執行部4期目です。引き続きよろしくお願いいたします。

書記長 寺田 鈴香

- ①読書・マラソン
- ②継続は力なり
- ③監視部 統括監視官(取2) 監視官

税関勤務年数はまだまだ短いですが、重役を果たせるようがんばります！

第63期 執行部役員

第63期が始まり、役員が新しくなりました。今号ではメンバーをご紹介します。

(①=趣味・特技、②=好きな言葉、③=本務)

書記次長 木村 聡太

- ①料理
- ②フツ軽
- ③調査部 特別審査官 審査官

良くも悪くもフツ軽をモットーにがんばります。

執行委員【財政部長】 牧野 孝之

- ①クレーンゲーム・DIY
- ②明日やろうはばか野郎
- ③業務部 収納係長

執行部2期目となりますが、よろしくお願いいたします。

執行委員【組織対策部長】 齋藤 剛

- ①ドライブ・カラオケ
- ②ありがとう
- ③監視部 密輸対策企画室 上席監視官

役職は変わりますが執行部4期目です。引き続きよろしくお願いいたします。

執行委員【調査部長】 武田 裕史

- ①サッカー・ゲーム
- ②無料
- ③総務部 会計課 営繕係長

よく分かってないですが、がんばります。

執行委員【教宣部長】 末澤 央将

- ①釣り・サッカー・スノーボード
- ②爆釣
- ③監視部 特別監視官 甲板員

昨年度に引き続きよろしくお願いいたします。

執行委員【文化厚生部長】 山村 豊和

- ①高温風呂巡り
- ②快晴
- ③監視部 特別監視官 上席監視官

初執行委員です。よろしくお願いいたします。

執行委員【青年対策部長】 寺嶋 一星

- ①球技・サッカー観戦
- ②5時ポン
- ③総務部 会計課 用度係

とても優秀な(?)川村青年部長にご迷惑おかけしないようにサポート頑張ります。

執行委員【青年部長】 川村 空

- ①釣り・見積合わせ
- ②連休
- ③総務部 会計課 用度係

分からないことばかりですが、何でもやります！がんばります！

一年間
よろしくお願いします！



佐々木副委員長はご退任されました。
これまでありがとうございました！



特別企画

新旧委員長対談

この度、函館地区本部のトップである執行委員長に代わりがあらした。第59期から第62期まで委員長を務めた北出淳一さんと新しく第63期委員長に就任した佐藤直樹さんが本音で語り合います。

現場の声が
組織を動かす

——北出さんは4年間で長きにわたる執行委員長のお疲れ様でした。

北出 ありがとうございます。います。そうですね、終わってみればあつという間でした。色々な話を皆さんから聞かせていただき、支えていただいた。何とかやれました。皆さんのおかげです。佐藤さんには猛烈にアタックして引き受けていただき、非常に心強いです。私も引き続き副執行委員長は務めますので、よろしくをお願いします。

——佐藤さんは執行部の要職を長年続けられてきたとお聞きしています。



第62期執行委員長
北出 淳一氏

役割を経験させていたいただきました。どの立場でも感じてきたのは、やはり「現場の声が組織を動かす」ということです。今回、委員長という大きな役割をお預かりすることになり、身が引き締まると同時に、これまで以上に組合員の皆さんの声を受け止め、形にしていける責任を強く感じています。

——最近の税関を取り巻く情勢はどうでしょうか？

佐藤 ありきたりですが国際物流の増加や新たな取組み分野への対応などで人手不足は続いています。全国的には税関中長期構想20

30に向けた税関業務の高度化・多様化が進んでいます。税関に求められている役割が年々大きくなっており、現場の負担感は確実に増えています。職場環境の改善や業務の平準化が喫緊の課題ですね。

北出 佐藤さんがいうように激動の時代ですね。AIの導入などDXが進んでいます。仕事量の増加に追いつかず、人手は足りていません。更に辞職者が続く状況も歯止めがかかっておらず、業務量と職員数のミスマッチが問題です。

——8月に公表された人事院勧告はインパクトのある内容でした。異動に関わる手当が拡充されるそうです。

佐藤 今回の勧告は、職員的生活実感に直結する内容でした。皆さんの関心が高いのではない

でしょうか。物価上昇がこれだけ続く中で、賃金・手当のあり方は職員の生活基盤を守る上で極めて重要です。同時に勧告の背景には「公務の魅力はどう維持するか」という課題があるのかなと思います。人材確保が難しくなっている中で待遇改善は避けて通れないテーマです。組合としても引き続きしっかり声を届けていく必要があります。

声を束ねること
安心感・一体感を
育むこと

——今の時代だからこそ、労働組合の存在が大切だということですね。

佐藤 働き方が多様化し、職場の課題も複雑化する中で、個人では解決できない問題が増えていきます。だからこそ、組合が「職員の声を束ねて、制度や職場環境をよりよくするため

に働きかける」役割は、以前にも増して重要になっていきます。また、組合は単に要求を出すだ



第63期執行委員長
佐藤 直樹氏

けの組織ではなく、職場の安心感や一体感を作る存在でもあります。困ったときに相談でき、声を上げられる、そんな場を守ることも組合の使命です。

——今後1年間でどのような活動を予定されていますか？

佐藤 今期は、昇任・昇格の公正化、人員の確保、内示の更なる早期化、居住環境の改善を中心に進めます。あわせて、各分会との対話を強め、青年層の育成や組織力の向上にも取り組めます。組合員の声をしっかりと受け止めながら、職場と生活をより良くする1年にしていきます。

率直な声を
聞かせてほしい

——最後に、全国でも

トップクラスの経験を誇る北出さんから後任の佐藤さんへのアドバイス、そして組合員へのメッセージをお願いします！

北出 私が一番大事にしていたのは、話をいっぱい聞けないうことでした。執行部にお話しただいて、それがどのように当局に伝わっているのか、あまりピンと来ない方が多いかもしれません。1年間しっかりと取り組んでいきたいと考えています。ともに良い職場を作っていきましょう！

——佐藤新委員長からも一言お願いします！

佐藤 組合は皆さん一人ひとりの声で成り立っています。どうか率直なご意見をお寄せください。組合の存在価値を高めることを軸に、1年間しっかりと取り組んでいきたいと考えています。ともに良い職場を作っていきましょう！

